

大和公民館だより

発行者 大和公民館

〒409-1203 甲州市大和町初鹿野 1693-1

館長(有賀)■■■■■■■■■■ 主事(三枝)■■■■■■■■■■

◇ グラウンドゴルフ大会のお知らせ

大和町に在住、在勤する小学生以上の方を対象にグラウンドゴルフ大会を開催します。グラウンドゴルフは誰でも気軽にできるスポーツです。今回もスポーツ協会をはじめ各団体が協力して開催します。暑い夏に加えてコロナ禍です。ボールを打って暑さを吹き飛ばしてみませんか。コロナウイルス感染防止のためマスクを忘れずに着用してください。

※ 日 時 令和3年8月18日(水) 午後7時から 雨天の場合は20日(金)

※ 場 所 大和スポーツ公園

※ 申し込み先及び問合せ先

大和ふるさと会館 (☎48-2921)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

笹子峠の西の麓の伝説・民話

過ぎたるはおよばざるが如し (すぎたるはおよばざるがごとし)

昔、孝兵衛という放屁(ほうひ)の名人がいた。近郷近在での放屁の記録保持者で知られていた。また、大の甘党でもあった。その頃は村の祭りを始め近郷近在で祭りや何らかの催し物があるときは、力比べや棒押し、のど自慢など行われてそれぞれ技を競った。ときには飛び入りで放屁比べも行われ皆を笑わせた。

今日は柏尾のお薬師さんだ。孝兵衛さんは大の仲良しの留重さんを誘ったが、用事があるので一足先に行ってくれとのことなので一人で出かけた。村はずれで留重さんの来るのを待って一服していると留重さんが来たので連れだって出かけることにした。道すがらこれという話もなく退屈なので孝兵衛さんは放屁の賭けを持ちかけた。

留重さんが勝てば酒をおごる約束をした。柏尾の橋までに百発できるかどうかの賭けであった。根が酒好きな留重さんは念を押して「百発だな」と承知した。西鶴瀬を過ぎ横吹の観音橋まで来たが、孝兵衛さんはまだまだ十発程度。「今日は俺の勝ち」と心の中でほくそ笑む留重さんであった。

一方、孝兵衛さんは渋い顔。「そうだ、苦しい時の神頼み」と、観音さんをお願いしながら歩いて行った。願いが通じたのかなんと観音さんのご利益があってその後は出るわ出るわで柏尾の橋まで来て丁度百発。孝兵衛さんついつい有頂天となって、「おまけだ」と大きいやつを一発やってしまった。留重さんはすかさず「百一発は約束違反だ。俺の勝ちだ」と手をたたいて喜んだ。孝兵衛さんは「しまった」と思ったが、後の祭りで留重さんに酒をおごる破目となってしまった